

事業所名 放課後等デイサービス KATALIBA

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

3 月

13 日

法人（事業所）理念		・子どもの個性を未来へと繋ぐ架け橋となる。 ・専門性を活かし安心を届け社会に貢献する。 ・利他の心をもってお互いの信頼関係を築く。							
支援方針		○ 不登校や登校しがりのある子どもたちが利用できる放課後等デイサービス。 ○ 学校に行けない子どもたちが、自宅以外で安心安全に過ごすことができる【居場所】。 ○ 午前中に【学習支援】を実施し、学習場面での成功体験の積み上げを支援。 ○ SST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施して、子どもたちの対人スキルやコミュニケーション力の向上を目指す。 ○ 子どもたち一人一人の【強み】を大切にする。 ○ 成功体験を積み重ね、自信をつけて、社会に出ていく際の【力】を育てる。							
営業時間			9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・ KATALIBAが安心安全に過ごせる居場所となり、通所が習慣化され、定期的に自宅から外に出ることによって生活リズムをととのえる。 ・ KATALIBAでの利用中の様子を、学校等に情報共有し関係機関と連携する。 ・ 通所困難な状況があれば、家庭訪問や短時間の通所から始める等、スモールステップでの支援を工夫する。							
	運動・感覚	・ 少しでも運動できる機会を増やせるよう支援する。 ・ 感覚過敏の子どもに対して、できるだけストレスを減らせるような支援を行う。							
	認知・行動	・ 自分と他人について理解を深めるような支援を行う。 ・ ほめる機会を増やし自信につながる支援をする。							
	言語 コミュニケーション	・ 自分の思いを他者に伝えられるように支援する。 ・ 会話のキャッチボールを通して、相手の意見を聞きながら、自分の主張ができるよう支援する。 ・ 障がいの状況に合わせた学習方法で支援する。							
	人間関係 社会性	・ 小集団活動の中で、自分が役割を担ったり、他者と協力する機会を持って、成功体験を積み重ねる。 ・ 個別ブースで支援員とのかかわりからはじめ、少しずつ人数を増やして、スモールステップで集団参加できるよう支援する。 ・ 再登校に向けた支援だけでなく、社会資源の活用も含めた児童にとって最善の進路をサポートする。							
家族支援		・ 保護者によりそい、専門的な助言を行う。				移行支援		・ 関係機関が同じ支援方針を持ち、定期的に連携を図る。	
地域支援・地域連携		・ 社会参加できるよう、地域のイベントなどに積極的に参加する機会を提供する。				職員の質の向上		外部講師をお招きして、職員力量向上の研修を行っている。	
主な行事等		・ 清掃活動（毎日昼食後実施） ・ 小集団SST（ソーシャルスキルトレーニング、月・金曜日の午後開催） ・ KATALIBAカフェ（子どもたちが自ら作りたいものを、自分で調べ、調理計画を立てて行なう調理実習。隔月に1度火曜日開催） ・ 運動療育や公園外出（水曜日の午後開催） ・ 各種イベント開催（外出イベント・調理イベント・工作イベント等。土曜日・祝日に開催） ・ 親の語り場（不登校児童の保護者同士の相互交流の場。1年に2～3回程度開催）							